

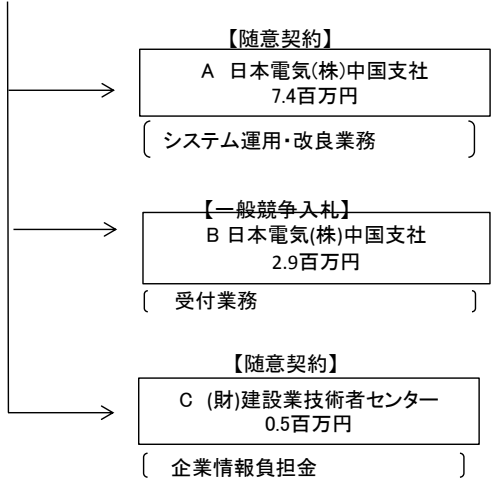
行政事業レビューシート (総務省)

事業名	建設工事等資格審査インターネット一元受付経費	担当部局庁	大臣官房会計課			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度	担当課室	大臣官房会計課			福田進吉	
会計区分	一般会計	施策名	IV 電子政府・電子自治体の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省組織令第23条	関係する計画、通知等	「官庁営繕関係の基準類等の統一」(H15.3.20)官庁営繕関係類等の統一化に関する関係省庁連絡会議				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各省庁がばらばらに実施していた建設工事等競争参加資格等の営繕事務の合理化・効率化を図るため、官庁営繕関係類等の統一化に関する関係省庁連絡会議により、平成15年3月20日に「官庁営繕関係の基準類等の統一」が決定され、平成16年度からインターネットを活用した一元的な受付を実施。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	建設工事等競争参加資格は2年間の有効期間であることから、隔年ごとに資格申請の受付、審査、データ入力、通知書発給事務を実施する必要があり、国土交通省が主管するインターネット一元受付システムに、平成20年度(平成21、22年度建設工事資格審査)から参加し、総務本省における行政事務の簡素・効率化及び合理化を図っている。また本一元受付は、申請者にとっても、各府省等(当省を含む29機関)に対して、原則1回の申請で可能となることから、利便性の向上・負担軽減が図られている。本件に要する経費は、参加する各府省が分担する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	6.5	0	12	0	14
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	6.5	0	12	0	14
	執行額	6.5	0	11			
	執行率(%)	100%	0%	92%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	事業者の電子申請数(総務省分)		成果実績	12,413件	-	14,158件	-
(事業者からの申請を受けて事務処理を行うため、定量的な目標値は示せない)		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	事業者の電子申請数(総務省分)		活動実績(当初見込み)	12,413件	-	14,158件	-
(事業者からの申請を受けて事務処理を行うため、定量的な目標値は示せない。なお隔年事務のため、平成23年度は実施されない。)					(-)	(-)	
単位当たりコスト	757円/件		算出根拠	総務省分担金等/電子申請件数(総務省分) (10,714,067円/14,158件)			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	建設工事等資格審査インターネット一元受付経費	0	15	本事業は、2年に1回の隔年で実施されるものであり、24年度要求(分担金等)はとりまとめ官庁である国土交通省等からの通知によるもの。具体的には、24年度要求は、平成25・26年度に実施される入札の参加資格を審査するための経費であり、平成23年4月1日時点における建設工事登録業者数により求めた割合に基づき、参加各府省が分担金として負担しているものである。			
計	0	15					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>①本一元受付は、国土交通省がとりまとめ省庁となっている。</p> <p>②本一元受付は、事業者においてインターネットを利用することにより、原則1回の電子申請処理で、各府省等(29機関)に対して有効な申請となることから、利便性の向上、負担軽減が図れ大きな効果が得られた。また、国の実施する建設工事等資格審査事務処理においても効率化が図れた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き適正な執行に努める。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成23・24年度予算内訳「主な増減理由」参照。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

総務省
11百万円
〔建設工事等資格審査インターネット一元受付の業務を実施〕



A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	システム開発	3.0			
人件費	システム運用支援	1.5			
機器等借上 費	サーバー等	2.0			
その他	機器搬入撤去等	0.9			
計		7.4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	資料整理等	1.9			
通信運搬費	電話回線使用料等	0.2			
機器等借上 費	パソコン、複写機等	0.2			
その他	諸経費	0.6			
計		2.9	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気(株)中国支社	システム運用・改良業務	7.4	随意契約	-
2					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気(株)中国支社	インターネット受付業務	2.9	1	99
2					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)建設業技術者センター	企業情報負担金	0.5	随意契約 (少額)	-
2					